

ちゅうぎんDX戦略

想いをつなぐDX

2024年5月

株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ

ちゅうぎんDX戦略 - 本戦略の位置づけ

未来共創プランステージⅠ/ⅡによりDX推進の土台を整備してきました。
今回、DXの更なる加速に向け“ちゅうぎんDX戦略”を策定し、未来共創プランステージⅢで描いた2030年の目指す姿「幸せが循環する地域」の実現を確実なものとしていきます。

長期経営計画



本戦略の位置づけ

ステージⅠ・Ⅱの成果を発揮し、
長期経営計画の達成、および次の成長に向けて
DXの更なる加速が必要



ちゅうぎんDX戦略の策定

CONCEPT

「想いをつなぐDX」

自らDX企業になり、
お客さまをリード・サポートし、
地域社会と一緒にデジタルでデザインする

Chugin DX Strategy

01

全体コンセプト・ビジョン

- トップメッセージ
- 全体ビジョン
- ビジョン実現に向けたシナリオ
- ちゅうぎんDX戦略の特徴

02

変革のシナリオ

- フェーズ1 まず自らがDX企業へ
- フェーズ2 お客さまのDXをサポート
- フェーズ3 お客さまと未来を共創
- DXを下支えする基盤整備

03

期待効果・収益インパクト

- DXにより狙う効果
- 収益インパクト
- 推進ロードマップ

Chugin DX Strategy

01

全体コンセプト・ビジョン

- トップメッセージ
- 全体ビジョン
- ビジョン実現に向けたシナリオ
- ちゅうぎんDX戦略の特徴

02

変革のシナリオ

- フェーズ1 まず自らがDX企業へ
- フェーズ2 お客さまのDXをサポート
- フェーズ3 お客さまと未来を共創
- DXを下支えする基盤整備

03

期待効果・収益インパクト

- DXにより狙う効果
- 収益インパクト
- 推進ロードマップ

トップメッセージ：ちゅうぎんDX戦略 実現に向けて

『人・地域ありき』

私たちがDXを進めていく上で大切にしているキーワードです。何のために今、DXを進めるのか。それは、ちゅうぎんフィナンシャルグループ最大の財産である「人財」がより輝ける存在になるためです。

最新のテクノロジーを活用することで、今まで培ってきた専門的なノウハウが伝承されます。また、デジタルを活用することで、より多くのお客さまに、より多くのサービス提供が可能になります。



DXを進めることで、人々や地域が今まで以上につながり新しい価値が生まれるでしょう。地域が日本を牽引する時代へと進化する。その一翼をちゅうぎんフィナンシャルグループが担いたいと考えています。

株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ
代表取締役 社長

加藤 貞則

ちゅうぎんDX 全体ビジョン

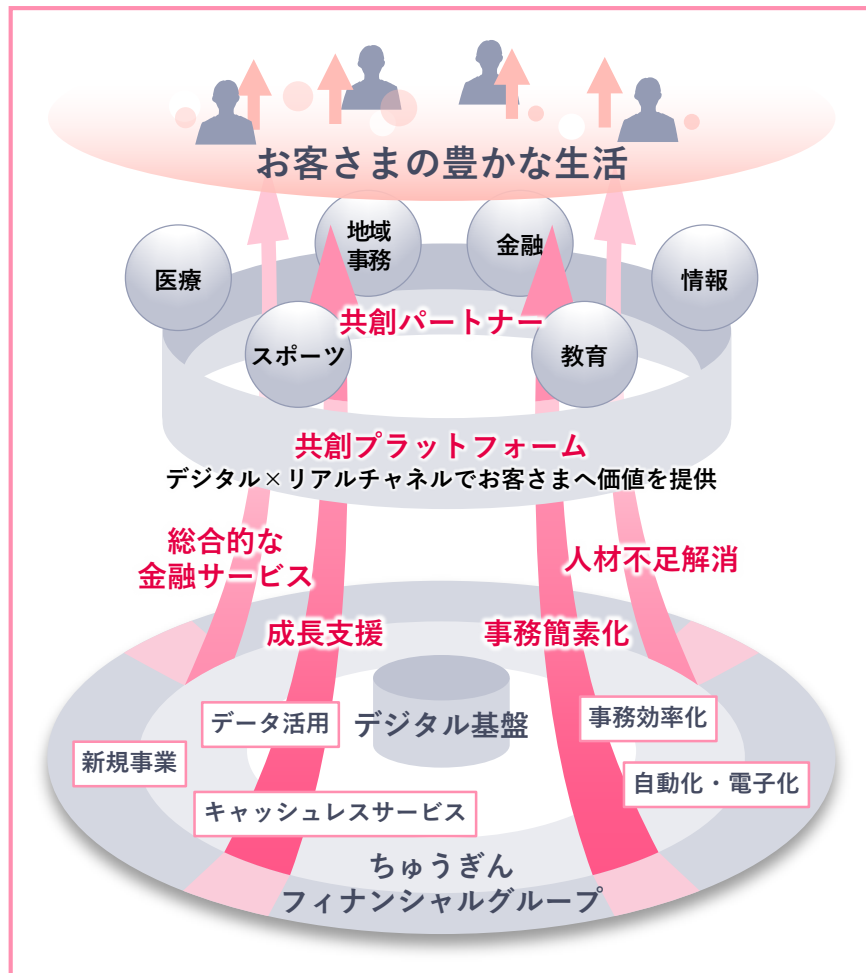
デジタル基盤から生み出す課題解決に向けたソリューションを駆使しながら、共創パートナーと共に「共創プラットフォーム」を構築し、「お客さまの豊かな生活」を実現します。



ちゅうぎんDX戦略のビジョンとシナリオ

DXのビジョンは「お客さまと豊かな未来を“共創”」することです。
ビジョンを実現するシナリオとして、まずは自らがDX企業となり、地域のお客さまのDXをサポートします。その上でお客さまと共に豊かな未来を創ります。

未来像（DXビジョン）の実現



シナリオ



ちゅうぎんDX戦略の特徴 ①

未来共創プランⅠ/Ⅱで土台作りを進めてきたデジタル化を起点として
全社横断の強固な推進体制で迅速に取り組みを進め、大きなビジョンを実現します。

■ 高次元の デジタルアセット

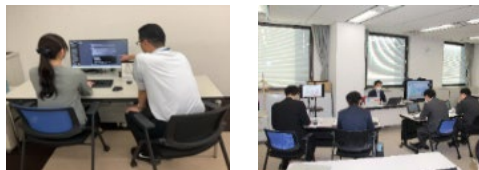


100名以上の内部開発体制
外部に依存せず開発可能



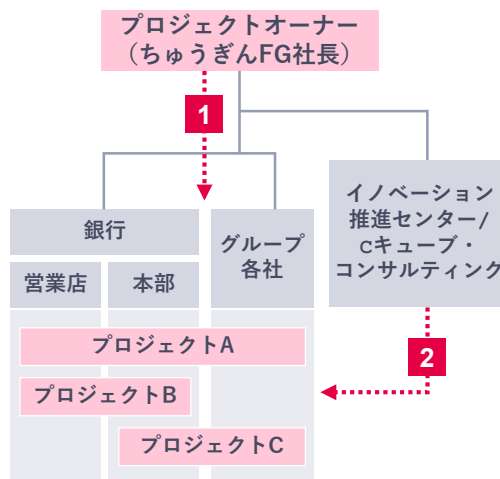
Cキューブ・コンサルティング

グループ内コンサル会社の
デジタル知見



生成AIなど先端デジタル
技術の研究開発機能を拡充
(イノベーションラボ)

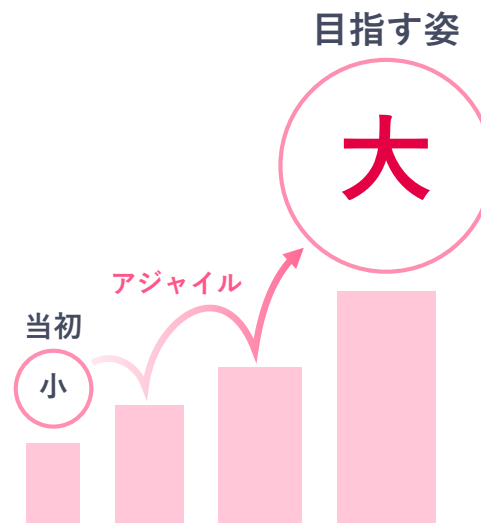
■ 強固な推進体制 (全社横断プロジェクト化)



1 ちゅうぎんFG社長が
プロジェクトオーナーとして
変革にコミット

2 全社横断での変革を横串で
管理推進する司令塔組織の確立
(イノベーション推進センター/
Cキューブ・コンサルティング)

■ ビッグスコープ スモールスタート



大きなビジョンを目指しつつ、
スモールスタートで
アジャイルに拡大

ちゅうぎんDX戦略の特徴 ②：強固なパートナーシップ

先端技術やノウハウを有する他業種トップ企業とのパートナーシップ構築により、お客さまに対し、スピーディーに最適なサービスの提供を検討します。

協業パートナー

狙い



主に個人や中小企業を対象とした新たなサービス提供

個人や事業者との豊富な接点や多様なデータを活かし、お客さまにとって最適なサービスの提供



地域のDXを共同で推進

地域のお取引先に向けて、生成AIに関する情報提供やサービス開発を共同で推進し、課題解決や事業成長を持続的に支援



データ利活用

データ分析知見やノウハウの提供を受け、業務を高度化することでお客さまに寄り添った提案を実施



新たな地方創生モデルの確立

グローバルネットワークで蓄積した幅広い知見やコンサルティングノウハウを、協業を通じて地域に合わせてカスタマイズし、地域課題の解決を実現

Chugin DX Strategy

01

全体コンセプト・ビジョン

- トップメッセージ
- 全体ビジョン
- ビジョン実現に向けたシナリオ
- ちゅうぎんDX戦略の特徴

02

変革のシナリオ

- フェーズ1 まず自らがDX企業へ
- フェーズ2 お客さまのDXをサポート
- フェーズ3 お客さまと未来を共創
- DXを下支えする基盤整備

03

期待効果・収益インパクト

- DXにより狙う効果
- 収益インパクト
- 推進ロードマップ

フェーズ1 自らがDX企業へ

デジタルによる業務効率化に取り組み、ビジネスを変革していくことで、お客さま体験の向上と地域エコシステム構築を実現します。

■ 業務のトランスフォーメーション 業務の効率化・意思決定のデータ活用

業務工数の捻出 バックからフロントへ

1 | 業務の効率化



非対面
取引拡充



AI活用



事務自動化



属人化
業務排除

2 | 経営の意思決定のデータ活用



経営高度化



マーケティング
高度化



■ ビジネスのトランスフォーメーション お客さま体験の向上・地域エコシステム構築

成長分野での活躍 リスキリングで適材適所

3 | お客さま体験の向上

デジタルバンクの利便性を実装し、
既存の枠に捉えられないサービスを展開

4 | 地域エコシステム構築

地域と好循環を生む
新たな事業領域へ拡大

業務プロセスの改革

2023年度よりEnd to End（グループ横断）での業務プロセスの改革に着手しており、これまで以上に地域・お客さまへの付加価値提供に人的リソースを集中します。

■ End to Endでの業務プロセス可視化

全領域で聖域なく業務改革を行い
全業務のプロセスを可視化

実施済領域

融資	預り資産	経理
法務	人事	集中事務

■ デジタルをフル活用した業務プロセス改革

お客さまへの付加価値向上に向けて
業務のトランスフォーメーションを推進

変革例

住宅ローン業務の完全非対面完結
事業性融資の審査効率化・高度化
経費精算・請求書支払の効率化
決算処理自動化
集中事務の自動化

■ ビジネス変革

組織全体で人的リソースを
組み換え、地域・お客さま
への付加価値提供にシフト

1,500人分の業務を可視化

その他の業務領域についても
順次対応中

業務量目標：▲40%

現時点で600人分の業務効率化目標
未来共創プランステージⅢ
▲30%から10%拡大

業務シフト

事務から付加価値の高い領域へ

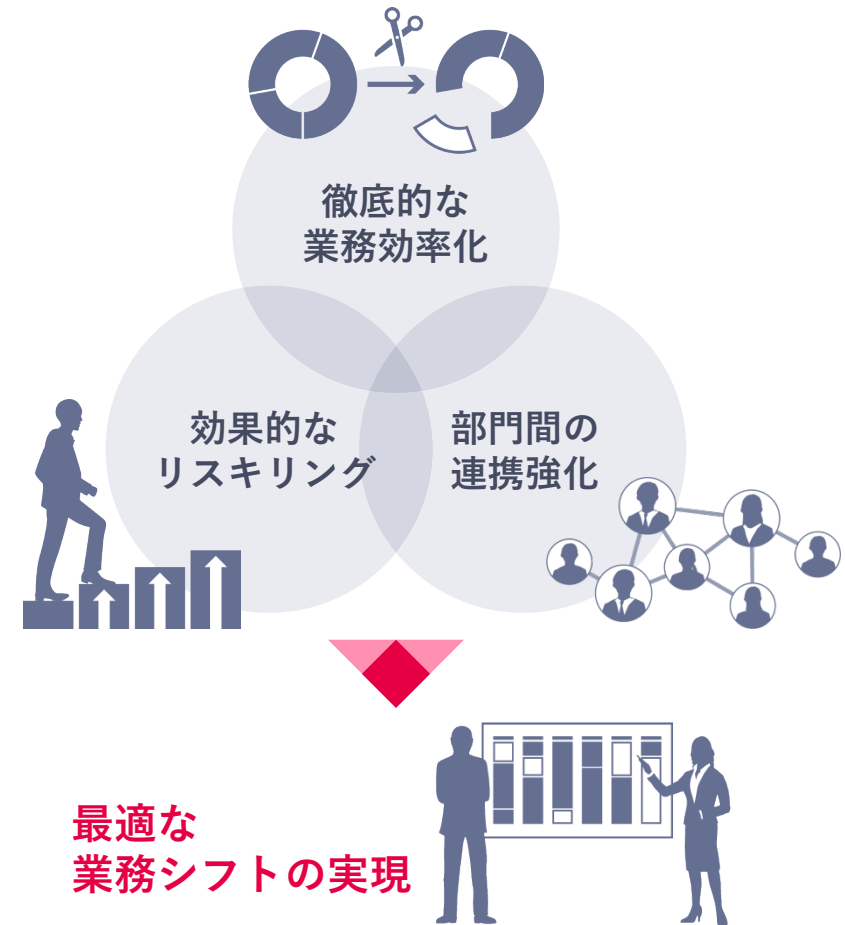
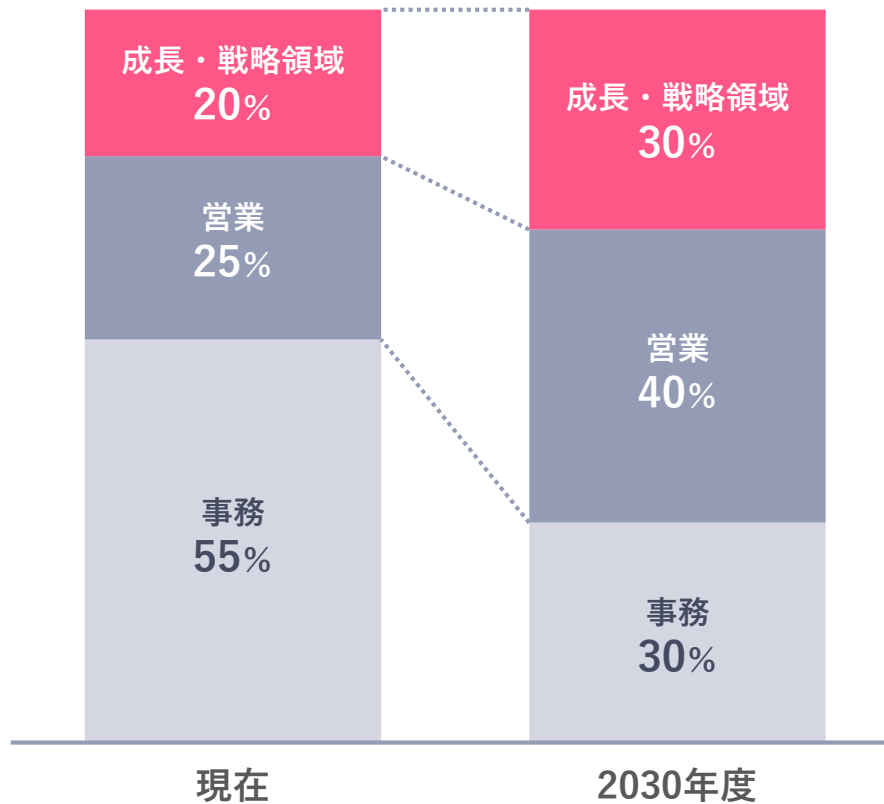
業務効率化により
成長・戦略領域や
営業領域に業務シフト

大胆な業務シフト

業務の徹底的な効率化を通じて、事務から営業や成長・戦略領域へシフトします。
また効果的にリスキングを行い、人財適性に合わせた適材適所の業務配置を戦略的に進めていきます。

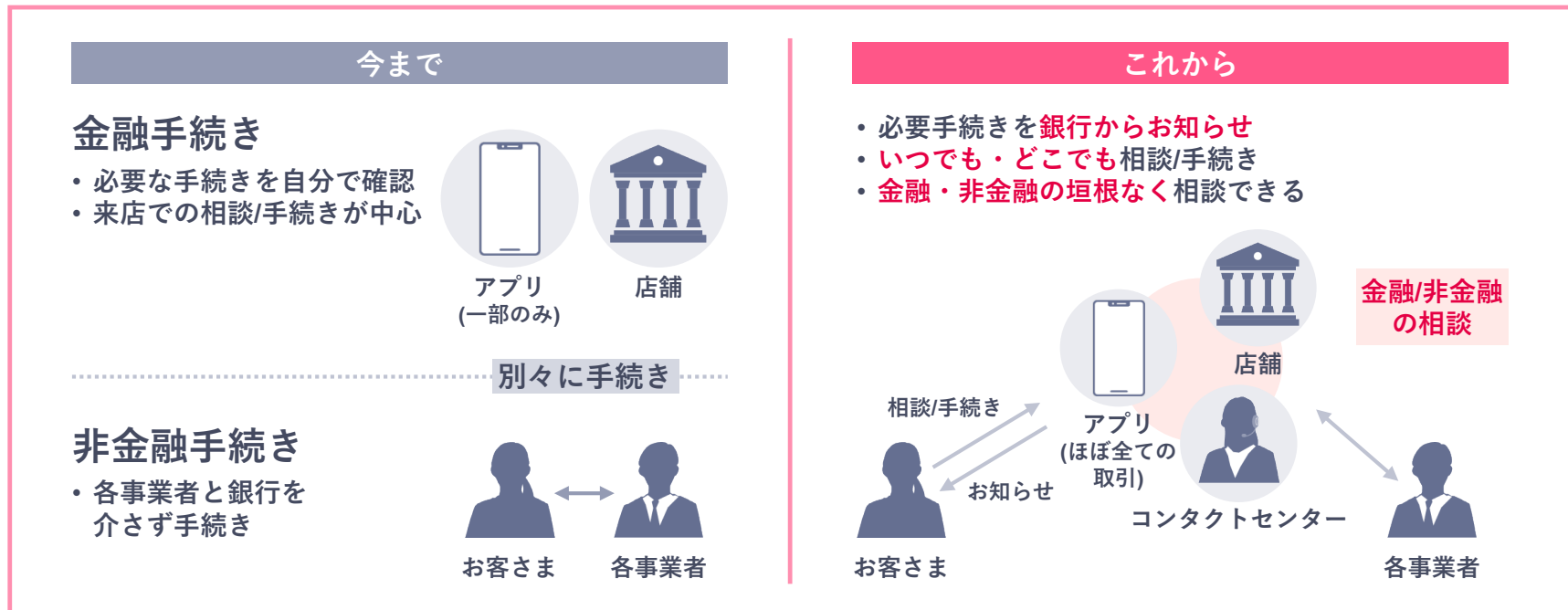
◆ グループ内 業務シフトイメージ ◆

◆ 業務シフト達成のポイント ◆



お客さまの生活に溶け込んだサービス展開

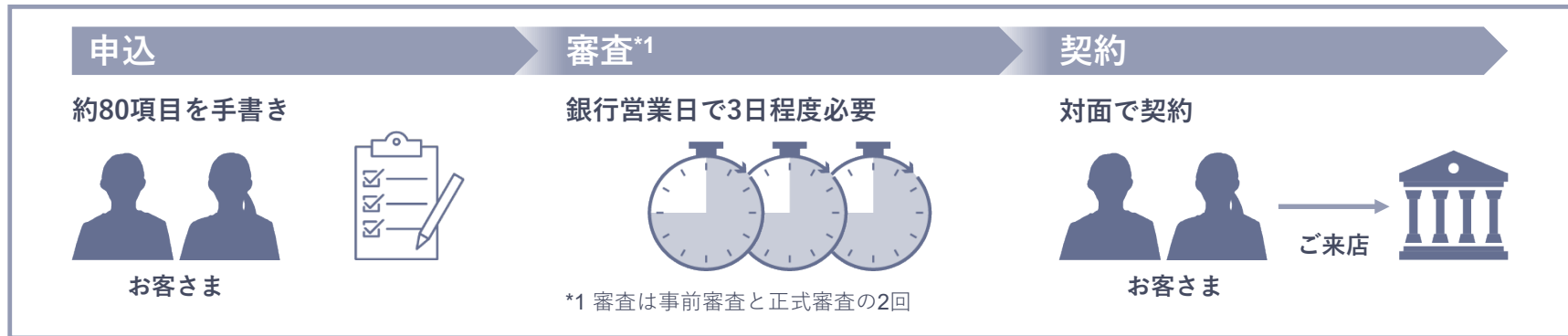
チャネル拡充を進め、お客さまの利便性を向上させると同時にお客さまの生活に溶け込んだ新たなサービスを展開します。



お客さま体験の向上（住宅ローン）

デジタルを活用することで、事前審査結果を最短30分程度で回答します。
またデジタル完結できる仕組みを通じ、お客さまの利便性を最大化します。

現状



これから



2024年7月より、順次サービス提供予定

お客さま体験の向上（住宅ローン）

デジタル完結可能な仕組みを構築することで、サービスエリアを拡大していきます。

デジタル完結できる仕組み

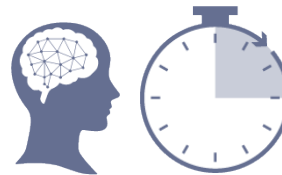
いつでも、どこでも簡単申込



お客さま

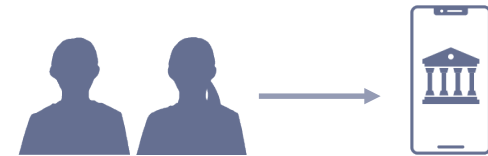
利便性アップ

審査結果を素早く回答



満足度アップ

対面不要で契約、借入まで完結



お客さま

サービス力アップ

サービス展開のイメージ

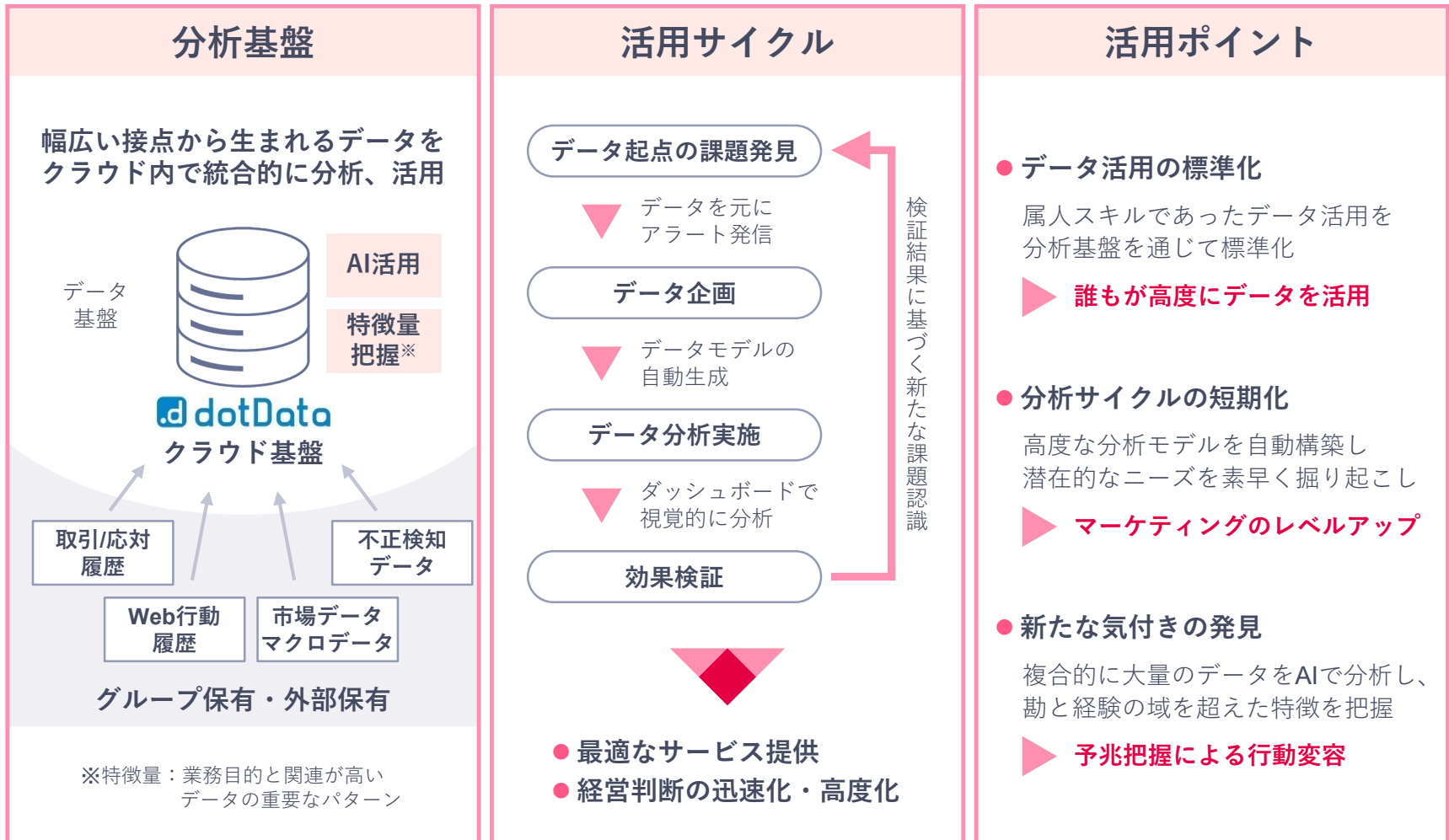
お客さまへ幅広く
利便性の高いサービスを展開



データ活用による業務高度化

幅広い接点から生まれるデータを活用し、お客さまに最適なサービスを提供します。
また、経営状況をリアルタイムで可視化し、ビジネス環境の変化へ素早く対応します。

ちゅうぎんFGのデータ活用モデル



フェーズ2 お客様のDXサポート

自社ノウハウの外部提供や自前主義に拘らないオープンイノベーションの取り組みでお客様の生活に寄り添ったビジネスを展開し、地域のDXをサポートします。

■ ノウハウの外部提供

金融業を超えたサービスを展開し、お客様のDXを伴走支援

非金融業に特化した機能会社（専門家集団）



Cキューブ・コンサルティング



ちゅうぎんヒューマンイノベーションズ



せとのわ



ちゅうぎんエナジー



ノウハウを提供し
お客様のDXを
サポート

■ 多様なチャネル強化

多様なチャネルを通じて、利便性の高いサービスを提供

ちゅうぎんFG



非対面



コンタクト
センター



対面
(訪問・店舗)



多様なチャネルでご支援



Cキューブ・コンサルティングによるDXサポート

ちゅうぎんFGのDX実現支援を行うと同時に、お客さまのDX実現に向けて伴走型でサポートを行います。



解決策提案 /
伴走支援

経営課題
相談

ちゅうぎんFG



Cキューブ・コンサルティング

2022年9月設立

- ・ 専門人材が中心の組織
- ・ 大手コンサルファームとの連携による豊富なサービス

実績
(一例)

- ・ DXビジョン・ロードマップ策定
- ・ 業務改革・システム改革支援
- ・ カーボンニュートラル戦略策定
- ・ 自治体DX推進支援

DX支援

ソリューション
サポート

グループ各社



ちゅうぎんエナジー

脱炭素化支援



中国銀行



ちゅうぎんヒューマノリソース

人財紹介



せとのわ

地域商社



中銀リース

リース



中銀カード

キャッシュレス関連

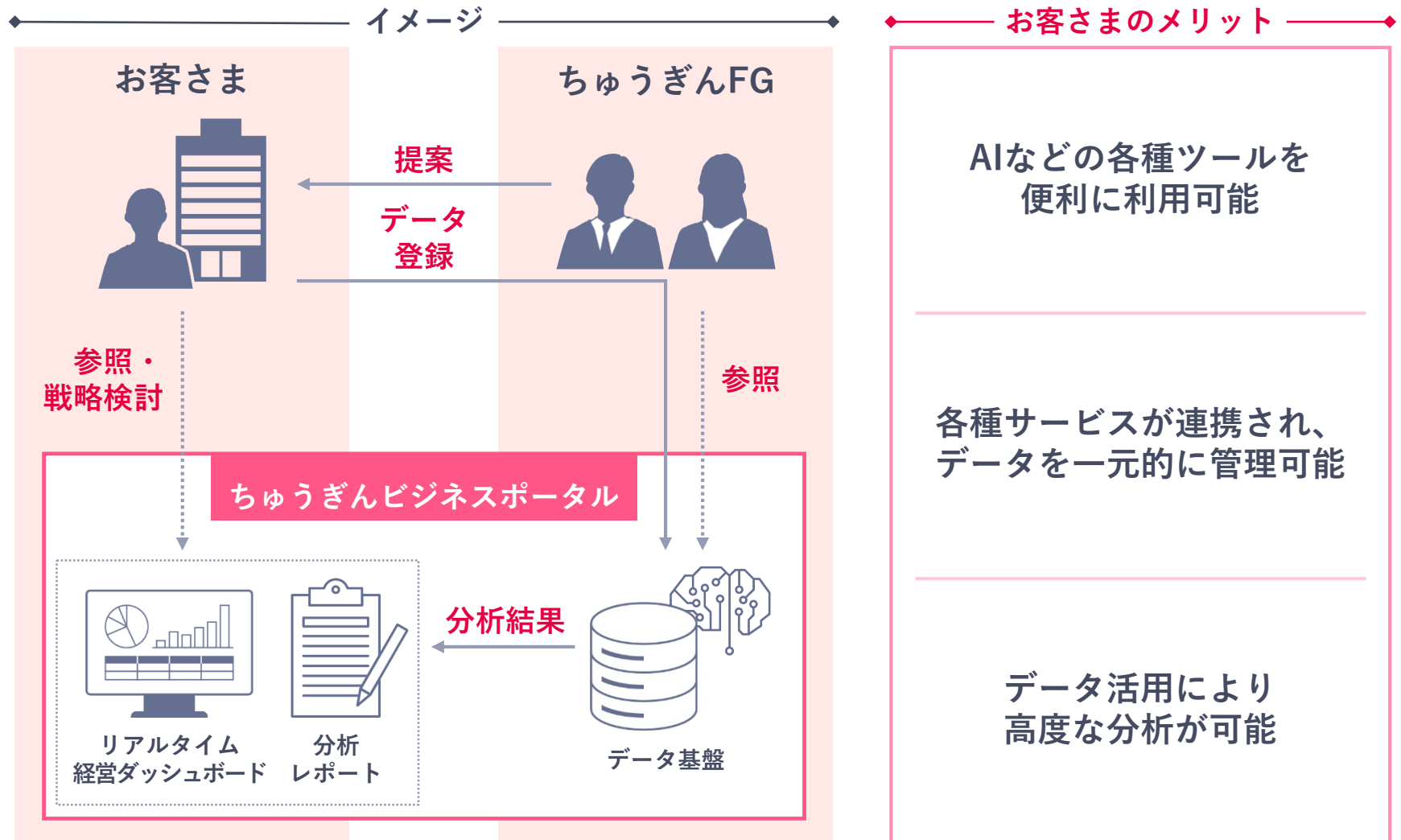


ちゅうぎんキャピタルパートナーズ

投資・ファンド運営

ビジネスポータルの拡張によるDXサポート

ビジネスポータル上でデータ分析やAIなどの各種ツールが利用可能となり、お客さまが便利に素早く自社のDXを推進できる環境を提供します。



フェーズ3 お客さまと未来を“共創”

非金融業への進出や異業種連携による共創プラットフォームを構築することで、地域のお客さまと一緒にDXで豊かな未来を共に創ります。

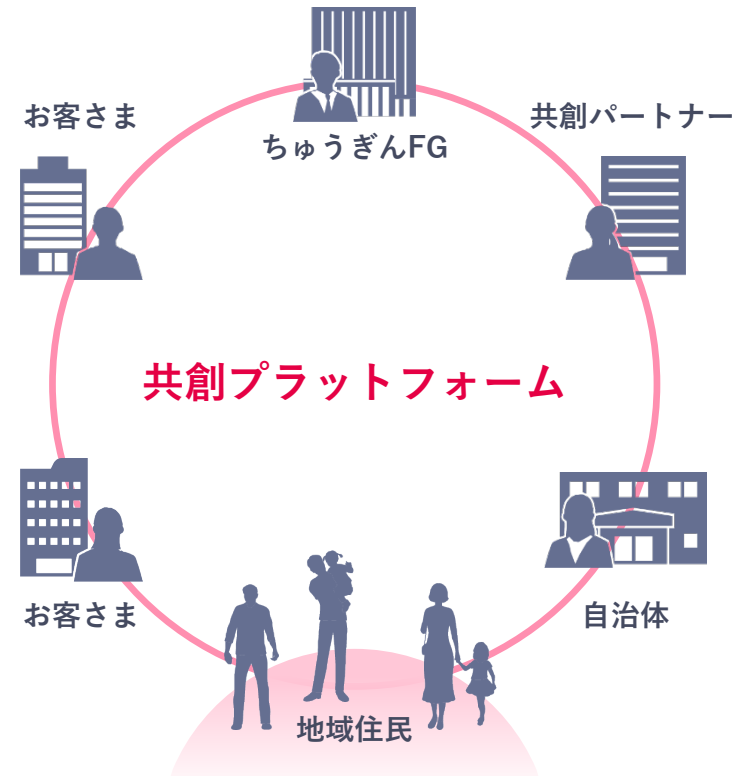
新事業の展開

金融業を超えたサービスを展開することで
地域と共にDXを推進



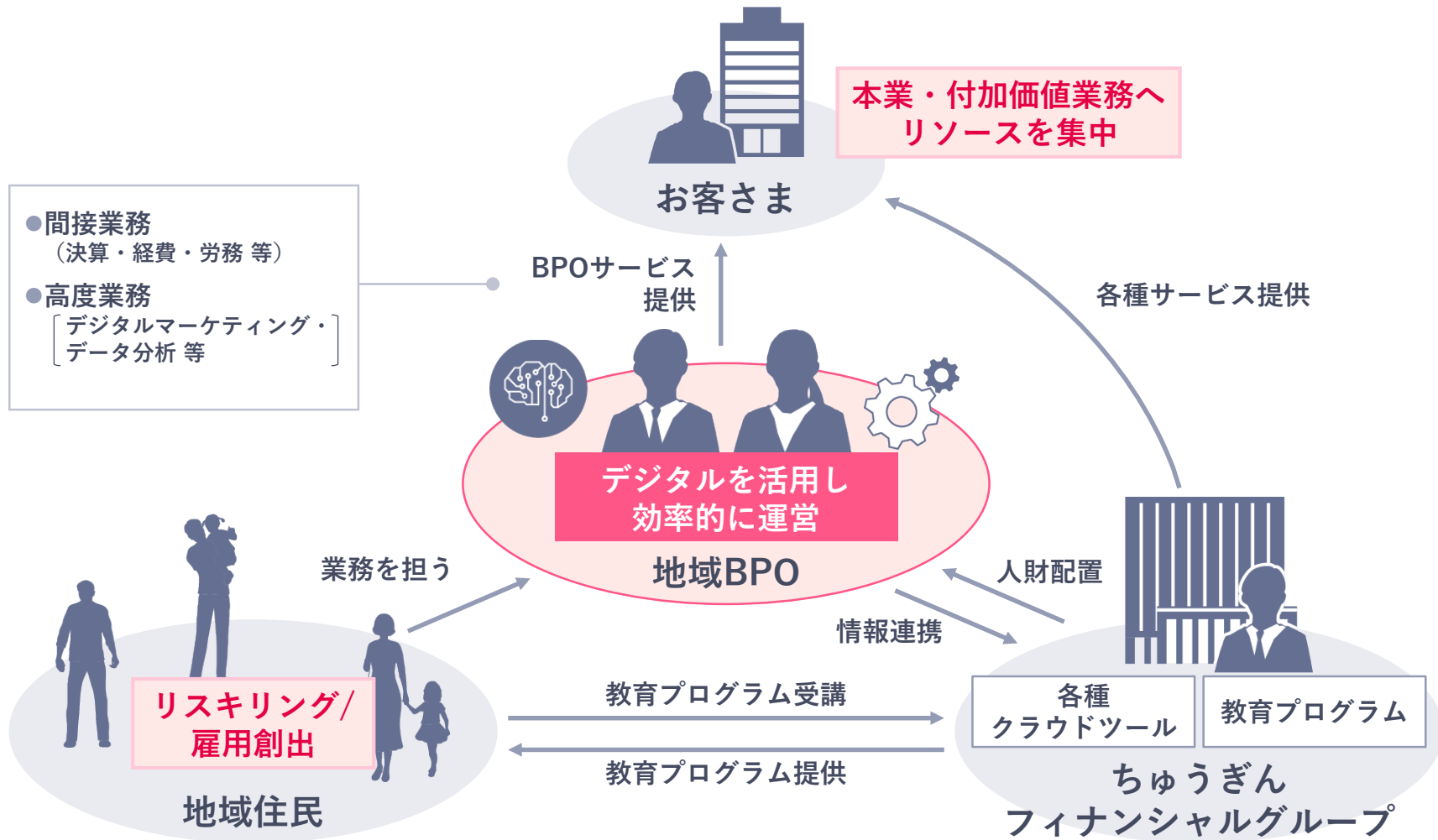
異業種連携

共創プラットフォーム構築により
地域課題を解決



新事業の展開：地域BPOサービス

地域のお客さまの経理などの間接業務を受託し、本業に注力できる環境を構築します。
また域外の企業からの業務受託を行うことで地域での雇用創出を実現します。

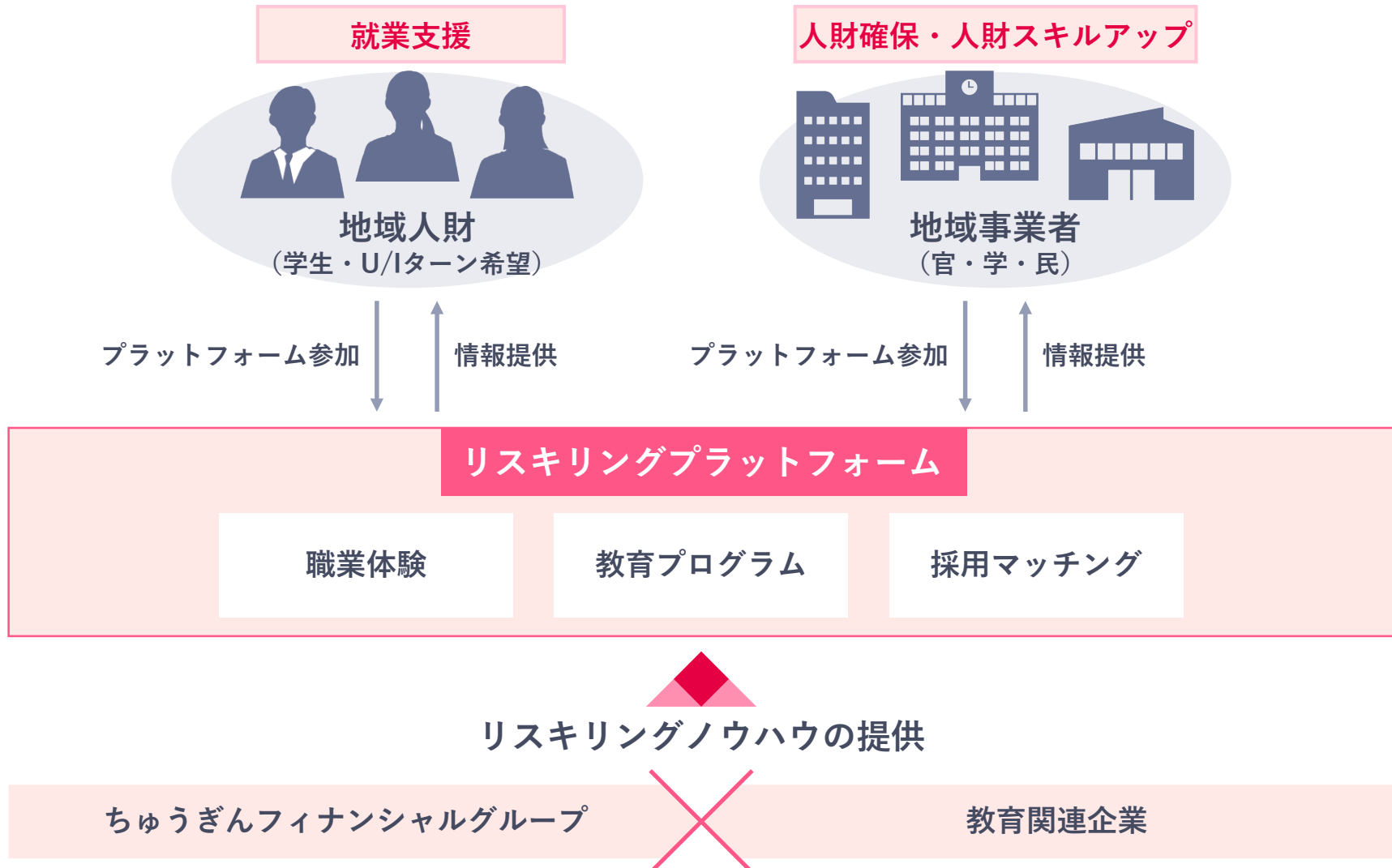


2023年2月より試行開始（2026年までに100名規模に拡大想定）

※BPO：業務を外部委託すること

異業種連携：リスキリングプラットフォーム

就業支援と人財確保・人財スキルアップを目的に教育関連企業と連携し、地域人財と地域事業者をつなぐリスキリングプラットフォームを構築します。



DXを下支えする基盤整備

内部開発体制やリスクリング強化等により、DXを下支えする基盤・機能を構築します。同時にデジタルガバナンスを確立し、両輪でDXを推進します。



内部開発

外部に依存しない
100名規模の開発体制

- クラウドを起点とした開発基盤構築
- AI等先端技術の活用



リスクリング 体系的な人財育成

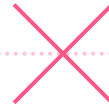
- お客さま提案力強化
- 人財シフトのためのスキルアップ
- 生成AI等の先端技術知識習得



ITインフラ

付加価値向上に向けた
組織のデジタル基盤

- 最新デジタルデバイスと要素技術の戦略的配備
- AIと連携した高度なクラウド型データ基盤



攻めと守りを実現し
DXを推進

- 変革のための組織体制整備
- 全体最適での投資判断
- データ/AI利活用ルール

デジタル ガバナンス

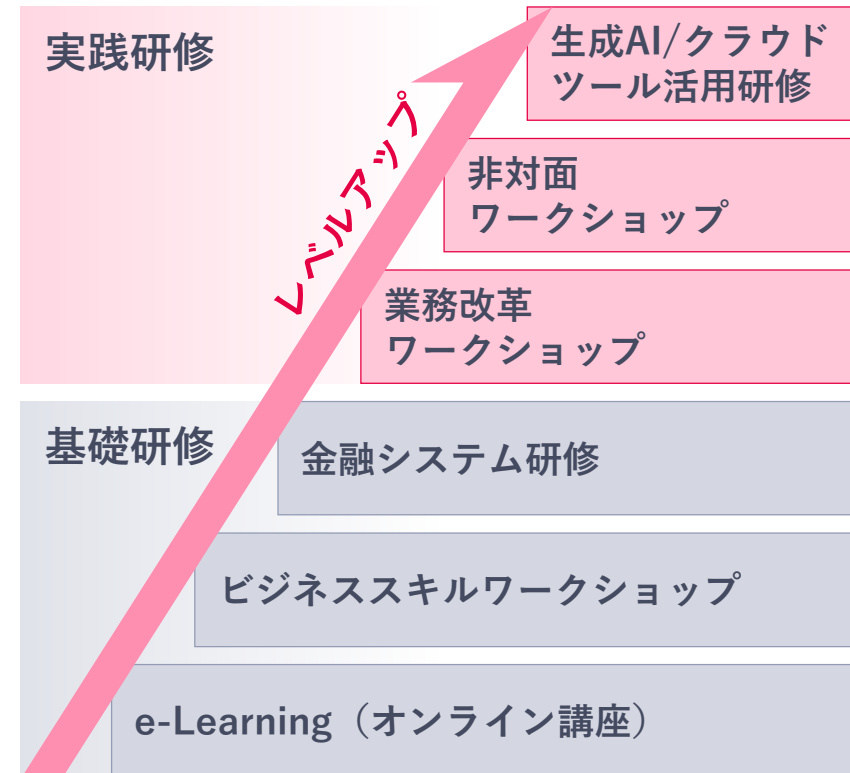


デジタル人財育成

求められる人財スキルを定義し、座学×実践のハイブリッド研修を行うことで、ちゅうぎんFG全体のデジタルスキル向上を図ります。

階層別の人財スキル定義

実践×座学の体系的研修



23年度試行完了。24年度より全社展開

Chugin DX Strategy

01

全体コンセプト・ビジョン

- トップメッセージ
- 全体ビジョン
- ビジョン実現に向けたシナリオ
- ちゅうぎんDX戦略の特徴

02

変革のシナリオ

- フェーズ1 まず自らがDX企業へ
- フェーズ2 お客さまのDXをサポート
- フェーズ3 お客さまと未来を共創
- DXを下支えする基盤整備

03

期待効果・収益インパクト

- DXにより狙う効果
- 収益インパクト
- 推進ロードマップ

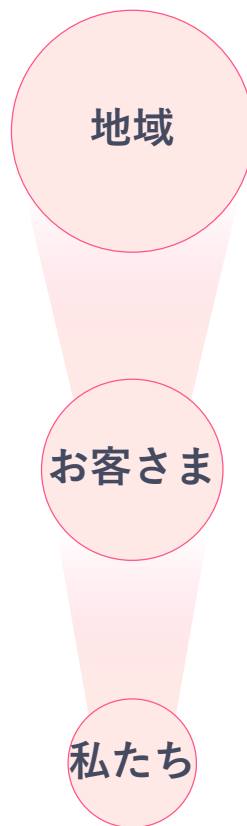
DXにより狙う効果

「想いをつなぐDX」により、地域と人がデジタルでつながり、地域全体、お客さま、グループ社員にとって価値のある効果を創出します。

未来像（DXビジョン）



狙う効果

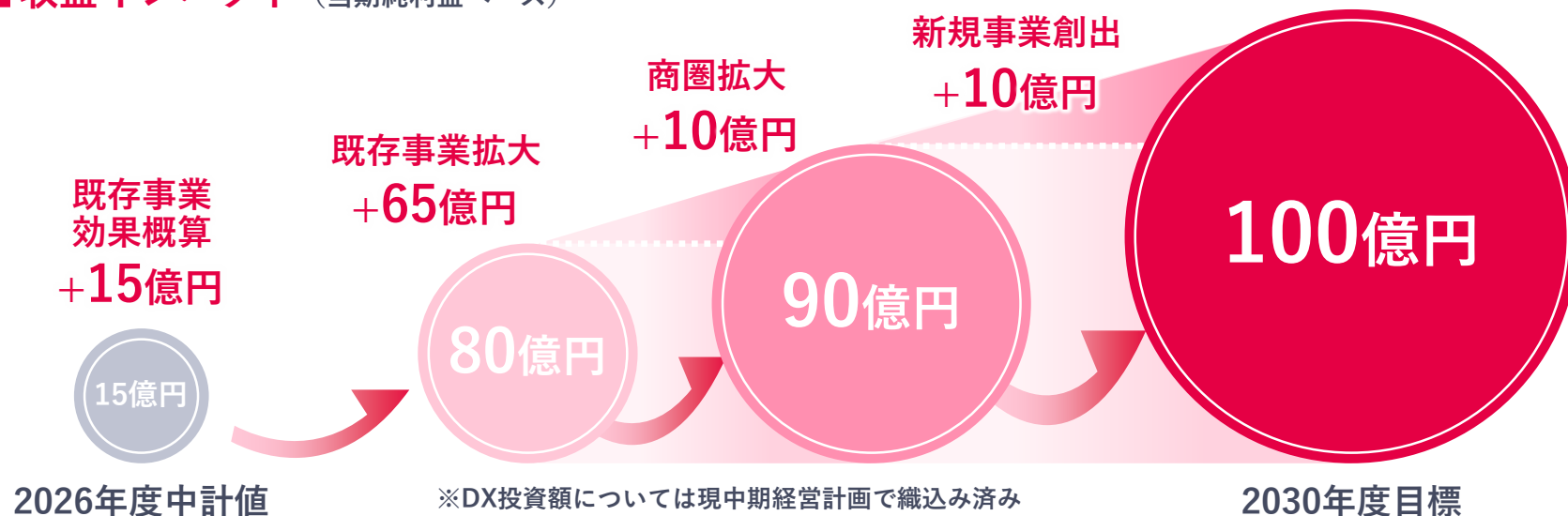


- デジタル浸透による**地域インフラ全体の利便性・満足度向上**
(金融、教育、医療)
- 地方創生のモデルを**全国へ展開**
- 暮らしや事業と密接につながった金融サービス**を活用
- 多様なライフスタイルや事情に合わせ、いつでも・どこでも**最適なサービス**を活用可能
- 人財のエンゲージメント最大化**
- デジタルスキル向上**
- DX効果の**社員・株主への還元**

DX収益インパクト

高い収益目標（ムーンショット目標）を設定し、チャレンジし続ける組織文化を醸成します。

■ 収益インパクト（当期純利益ベース）



■ 補足説明

DX収益インパクト15億円

DX収益インパクト100億円
(2030年度目標)

※DX進捗と効果加速で収益目標を見直し

・ 既存事業拡大

業務改革を通じた業務効率化とリスクリングによる業務シフト
リソース再配置による地元事業性融資拡大、戦略的投資運用拡大

・ 商圏拡大

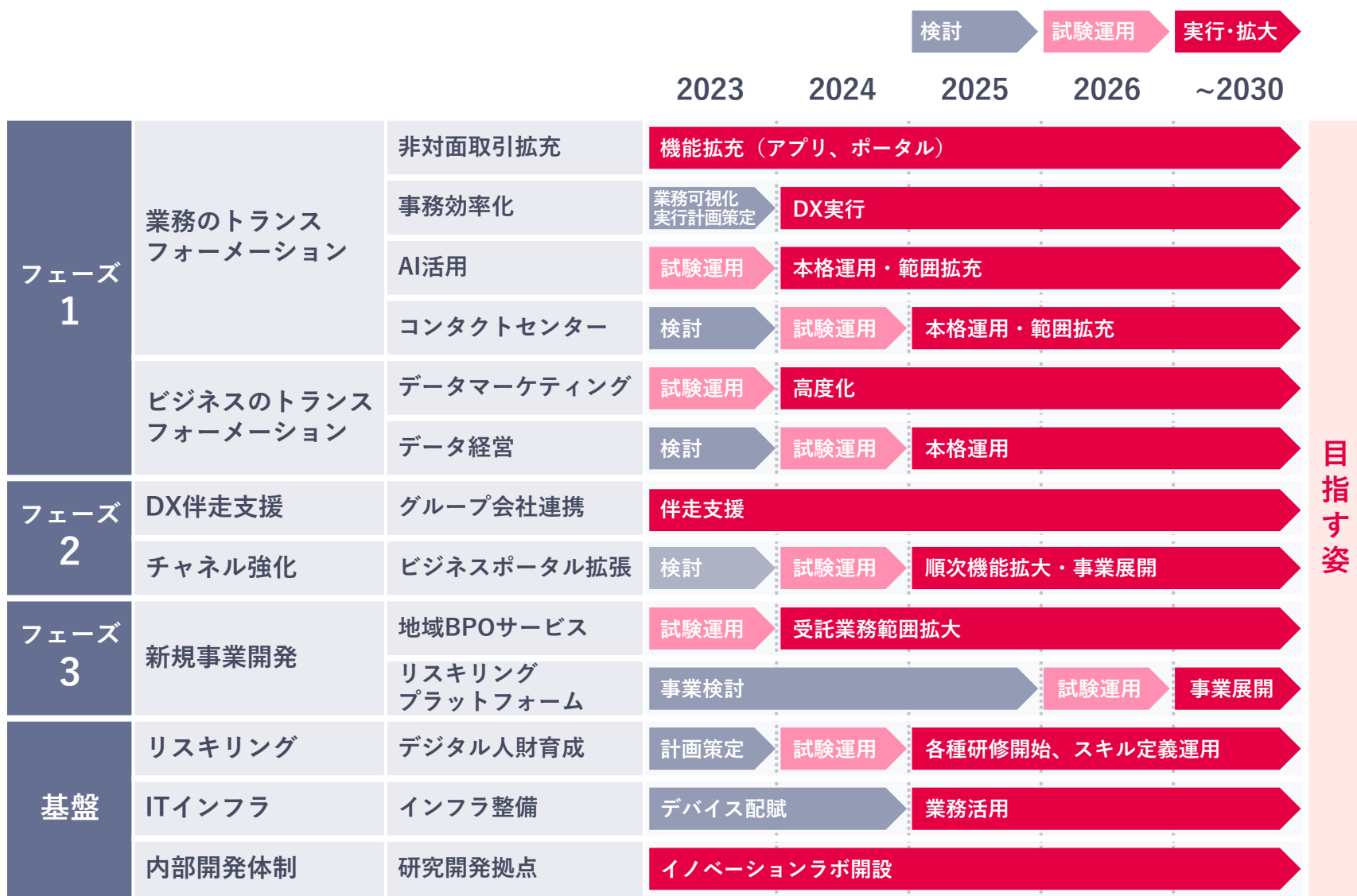
デジタル起点の顧客獲得や利便性向上 他

・ 新規事業創出

地域BPOサービス、リスクリングプラットフォーム 他

ロードマップ

各種施策に優先順位をつけ、順次遂行することで目指す姿を実現します。





この挑戦が、未来となる。

ちゅうぎんフィナンシャルグループ

本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。